



令和2年度 第5号 令和2年8月3日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から 32日間、安全・安心で、楽しく、充実した夏休みに！

校長 中山 武広

本市においては、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業に伴う学習の遅れへの対応のため、7月21日から30日までの夏季休業日(土日・祝日を除く)に授業を実施しました。本校では、校内で様々な工夫を行って授業時数を確保し、各教科の不足時数(未指導)はゼロの状況であったので、既習事項の補充や定着を図る時間として、午前中のみ4校時までの授業を実施することとしました。

授業実施期間中は、蒸し暑くて不快指数の高い日もありましたが、各教室にエアコンが整備されたこともあり、健康面等で特に大きな問題もなく、生徒の皆さんが明るく元気な様子で学習に取り組んでいたことに安堵しました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

1学期終業式は、授業実施期間の最終日の7月30日に行いました。

この1学期を振り返ってみますと、まず、入学式は、規模縮小で出席者を新入生・保護者・学校職員に限定して挙行了しました。家庭訪問は、前年度末の臨時休業の際の学習の遅れを取り戻すために午後も授業を行い、保護者と担任による玄関先訪問として実施しました。学校が再開し、新年度開始を喜んで矢先、緊急事態宣言の発令等があり、4月23日から再び臨時休業となりました。5月の大型連休とも重なった2度目の臨時休業期間の際には県境をまたぐ移動に制限がかかり、各ご家庭にはご不便をおかけいたしました。ご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

この経過の中で、1学期に予定していた諸行事は軒並み変更を余儀なくされました。学校行事では、「集団宿泊学習」中止、「高校説明会」規模縮小、「職場体験学習」規模縮小(最終的に中止)、「地区総体」延期、等々。PTA行事では、「PTA総会」書面決議、「PTA歓迎会」中止、「ロードミラー周辺清掃」中止、「親子学習会」中止、等々。

上述のように行事等の変更が多々あったものの、それに伴う大きな混乱等は特になく、5月7日から学校再開以降、各ご家庭のご協力も得ながら全校体制で感染防止に努め、落ち着いた学校生活を過ごして、1学期終業式に至ります。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

コロナ禍に翻弄された1学期でしたが、第2波ともいわれる県内外の現在の感染拡大の状況をみますと、夏休み期間も全く油断はできません。『安全・安心で、楽しく、充実した夏休み』にするために、「水難事故防止」、「交通事故防止」、「不審者対応」、「熱中症防止」等に加えて、改めて、「感染防止(感染しない)・感染拡大防止(感染させない)」を強調したいと思います。併せて、32日間の夏休み、引き続き、地域・保護者の皆様の見守りと声かけをよろしくお願い申し上げます。

行事予定

月	日	曜	7月~8月前半の主な行事
8	3	月	安全点検日 PTA役員会・評議員会
	13	木	閉庁日
	14	金	閉庁日
	21	金	出校日
	23	日	リサイクル活動
	24	月	図書室開放(~28)
9	30	日	奉仕作業
	1	火	始業式 身体計測
	2	水	実力テスト(~3)
	7	月	全校朝会
	9	水	体育大会予行
	13	日	第74回体育大会
	14	月	振替休日
	16	水	SC来校
	28	月	生徒集会
29	火	文化芸術事業「狂言」	

3密を避け、健康管理を怠らず、貴重な直接体験のある有意義な夏休みにしましょう。

夏休みの課題や夏休みの過ごし方についてのプリントも配布しております。ご家庭で読み合わせていただくようお願いいたします。また、今後の学校行事等につきましても、新型コロナウイルス感染防止の観点から、やむを得ず、変更・延期・中止することがあります。ご了承ください。

努力目標

規則正しい生活を送り、事故防止に努めよう。

一事徹底

早寝 早起き 朝ご飯／生活の記録に毎日チェック

高校出前授業

7月15日(水)
2校6学科の出前授業！



高等学校の先生や高校生が来校され、高等学校での学びを体験させていただきました。今年度は、鶴翔高校から農業科学科（スマート農業、ドローン体験）、食品技術科（缶詰ラベル貼付作業）、総合学科環境緑地系列（竹垣づくり）、総合学科情報ビジネス系列（表計算ソフトの応用）、出水中央高校から、看護学科（手指衛生体験）、医療福祉科（アイマスク・介護体験）が出前授業をしてくださいました。

就職ガイダンス

7月14日(火)
キャリアを知ろう！



FP（ファイナンシャルプランナー）である小野祥子先生に来ていただき、挨拶や礼儀の大切さ、自分を知り、様々な職業を知る大切さを学びました。今後の生活で、先を見通して、いかに生きるかについて考えましょう。

Michael先生とのお別れ会

7月20日(月)
Farewell Meeting for Michael



これまで2年間、ALT（外国語指導助手）として本校にも勤務されていた Michael 先生が退職することになりました。最後の授業も生徒の心に残るものになりました。これからの新しい門出をお祝いいたします。

命の授業

7月17日(金)
心のSOSをキャッチ！



10代の自殺者数が増加傾向にあることから、鹿児島純心女子大学の中村誠文先生を講師に、「自他を大切にするために」というテーマで授業をしていただきました。心のSOSへの対応やストレスマネジメントの大切さ、自他を大切にすることが大切であることを伝えられました。まずは、傾聴（耳と目と心を傾けること）すること、してもらうことです。日頃から実践しましょう。

夏休みに入る君へ「人生に自動ドアはない。扉を開くのは君だ。」

パリ・ダカール・ラリーというモーター競技がある。フランスの首都パリからセネガルの首都ダカールまでサハラ砂漠等を走り抜けていく世界一過酷なレースとして知られる。このラリーは1978年、ティエリー・サビーヌという当時28歳だった青年によって初開催された。

そのサビーヌが第1回目のパリ・ダカール・ラリーが開催された時に残した言葉が『私にできるのは“冒険の扉”を示すこと。扉の向こうには危険が待っている。扉を開くのは君だ。望むなら連れて行こう。』

君の日常生活を見ていて、どこか他人事、人任せ…そんな人が多い。聞き間違い、勘違い、後で誰かに聞く…。話を一生懸命にしても聞いていない。最近、感じることは、誰かが君のことを思い、どんなに面白い話を考えても、どんなに熱く語ろうとも、やはり“心の扉は君にしか開けられない”ということ。

そう、人生に自動ドアはない。君がやってみようと思った瞬間、君が行動を起こしたときに、その人生の扉は開かれる。誰かがトントンと扉をノックしてくれることが多い学生時代に扉が開けられたら、どんなにいいだろう。そんなノックされる扉がたくさんあるうちに、扉を自分で開けられる人であってほしい。この夏、計画を立て、具体的に動こう。一つでもいいから、その扉を自分で開けよう。きっと、新鮮な空気が入って、部屋は明るく広くなり、生き生きするはずだから。